

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不適合事象が対象になります。

平成18年7月11日に不適合管理委員会で審査された不適合事象は、下記のとおりです。

区分Ⅰ：該当なし

区分Ⅱ：該当なし

区分Ⅲ：該当なし

その他：9件

No.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	3号機	発電機電圧調整時、発電機界磁巻温度記録計（TR-GFTI-1）に指示不良（ハンチング）が認められたため、当該記録計を点検・校正	D	
2	5号機	給復水系用酸素注入装置の酸素ポンペ出口弁（V-39-108B）において、ハンドルの空回りによる操作不能が認められたため、ハンドルを点検・修理	D	
3	6号機	復水脱塩装置脱塩塔（NO. 6）樹脂出口弁（MO-D6-10）において、電動開閉動作不能が認められたため、電気回路を点検・修理	D	
4	6号機	タービン補機冷却水ポンプ（A）において、反カップリング側軸受に油のにじみが認められたため、当該ポンプを点検・修理	D	
5	集中環境施設	高温焼却設備ドラム転倒装置（B）の電動機点検時、反負荷側エンドブラケット軸受ハウジング部の内径寸法に管理値外れが認められたため、当該部を修理	D	
6	集中環境施設	焼却建屋大物搬入口内でコンテナ荷降ろし終了後、運搬車両後部を搬入口内壁面に接触させ、壁面塗装面に剥離が認められたため、当該部を補修塗装及び対応検討	D	
7	集中環境施設	補助ボイラB号缶運転中、「汽胴圧力高」警報が発生。重油流量調節弁（FCV-F213B）の動作不良が認められたため、当該調節弁を点検・修理	D	
8	集中環境施設	雑固体焼却炉（B）プロセス空気フィルタ（B）において、微粒子フィルタの詰まりによる「差圧高」警報の発生が認められたため、当該フィルタを点検・清掃	D	
9	その他	電離箱式サーベイメータ（ICW-71）の照射試験実施時、校正基準値外れが認められたため、当該サーベイメータを修理及び対応検討	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉停止</li> <li>・発電所外への放射性物質の漏えい</li> <li>・非常用炉心冷却系の作動</li> <li>・火災の発生 など</li> </ul>
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全上重要な機器等の軽度な故障（技術基準に適合する場合）</li> <li>・管理区域内の放射性物質の軽度な漏えい</li> <li>・原子炉等への異物の混入 など</li> </ul>
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化</li> <li>・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障</li> <li>・主要パラメータの緩やかな変化</li> <li>・人の負傷または病気の発生 など</li> </ul>
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常小修理 など</li> </ul>

<原子力発電所における不適合事象の是正管理>

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講ずることとしております。

\* 「不適合の定義」 (JEAG4101-2000より)

本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為 (判断) とは異なる行為 (判断)

不適合管理グレード分け (不適合管理委員会にて決定)

- A<sub>s</sub> : 法令、安全協定に基づく報告事象  
プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A : 保安規定に関わる不適合事象  
定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B : 国の検査等で指摘を受けた不適合事象  
運転監視の強化が必要な事象
- C : 品質保証の要求事項に対する軽微な不適合事象
- D : 通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 : 消耗品の交換等の事象

<注 意>

掲載内容に関するお問い合わせにつきましては、下記のお電話までお願いいたします。

電 話 : 0240-32-3432 福島第一原子力発電所・広報部・情報発信グループまで